

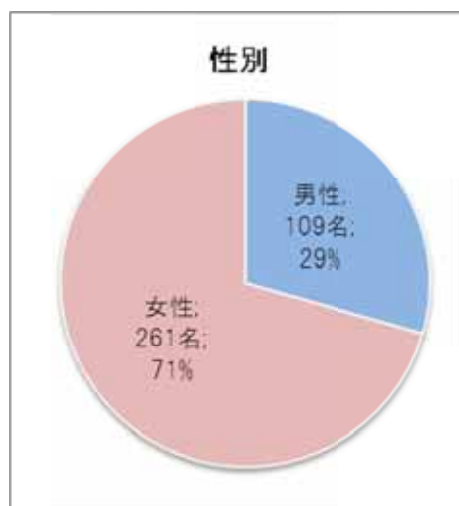
介護支援専門員（ケアマネジャー）に関するアンケート調査 集計結果報告について

アンケートの目的

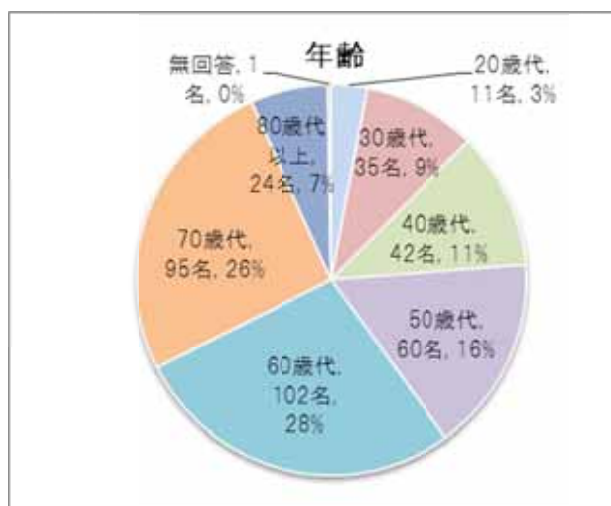
この度、当会の調査・研究委員会では、ケアプラン作成についての課題や介護支援専門員（ケアマネジャー）の業務内容についての課題明らかにし、提言等を行うために府民のみなさまが「介護支援専門員（ケアマネジャー）に対してどのようなイメージを持っていたらいいか？」について、意識調査を実施いたしました。

アンケートにつきましては、当会主催の府民公開講座や SKY フェスティバル等におきまして総勢 370 名の皆様のご協力を得て終了いたしましたので、ここにご報告いたします。詳細は各設問のグラフをご参考ください。

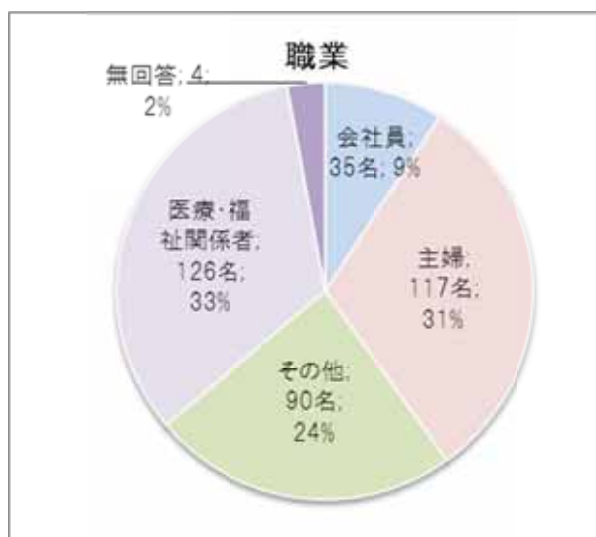
【設問】基本項目（回答者の属性）



図表 1：性別

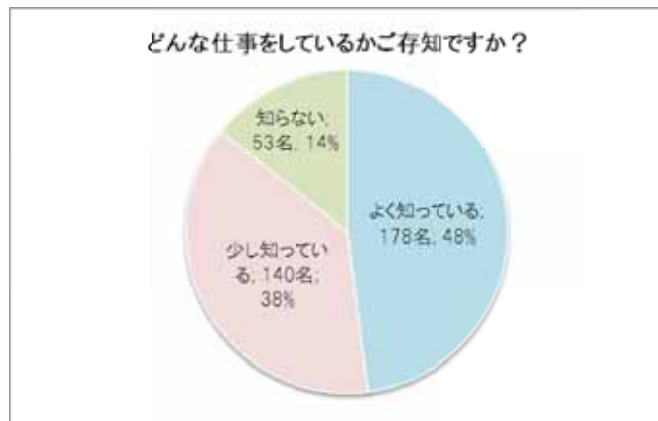


図表 2：年齢

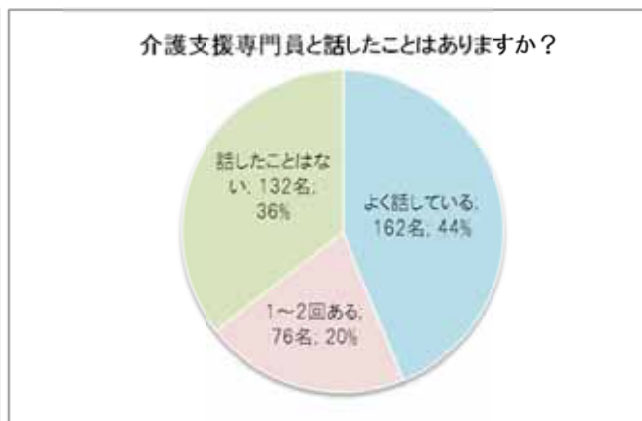


図表 3：職業

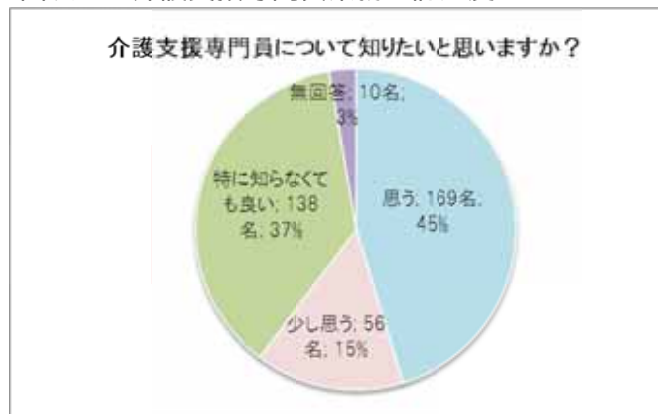
【設問】介護支援専門員（ケアマネジャー）について



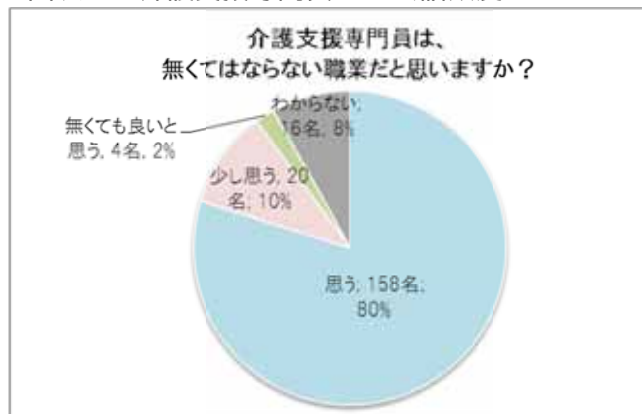
図表 4：介護支援専門員業務の認知度



図表 5：介護支援専門員との会話頻度



図表 6：介護支援専門員に対する興味



図表 7：介護支援専門員の必要性

欄外記載コメントより・・・

- 「無くてはならない職業か」の質問で「わからない」と答えたのは、業務内容を知らないから。
- 利用者です。月に1回ケアマネジャーさんと話しています。
- ブロックや地域ごとのケアマネさんの学習会に利用者として参加して一緒に勉強し、利用者を守り代弁するお仕事に反映してほしいです。ケアマネに守ってもらって助かったことがあります。
- ケアマネジャーは必要だとは思いますが、社会福祉士が担うべきではないかと思います。
- ケアマネの質の差が大きいです。ケアマネの質の向上を願います。
- ケアマネジャーについて、特に知らなくても良いと思うが、気になる存在ではある。

ま と め

今回のアンケートに回答いただいた方の90%が、40歳代以上の被保険者の方でした。制度の要と言われる介護支援専門員が、「どんな仕事をしているか？」について、「よく知っている」と回答いただいた方が50%を切る結果となりましたが、「無くてはならない職業だと思いますか？」については80%と高い結果となりました。

会員をはじめ、日頃、ケアマネジメントに関わる者として必要性の理解は広く認識されている事に感謝し、“無くてはならない職業”として、さらに広く啓蒙させていただく必要性を感じました。

以上